

文献調査を踏まえた平成 27 年度発がん性評価について（報告）

1. 平成 26 年度において国の委託事業により発がん性に係る情報収集を実施した物質の中から、29 物質を選定し、平成 27 年度に発がん性評価ワーキンググループで発がん性評価を実施することとした。
2. この 29 物質については、主に、国際がん研究機関（IARC）又は他の評価機関において発がん性分類がなされていないが、発がん性試験で陽性の結果が出ている物質である。また、IARC の発がん性分類はないか又は 3（ヒト発がん性について分類できない）であって、EU 等他の機関において、IARC の 2B 以上相当の発がん性分類がなされているものも含んでいる。
3. 29 物質は、平成 27 年度第 1 回の発がん性評価ワーキングに示した候補物質（約 50 物質）を基に、発がん性試験情報の公表時期等も考慮して絞り込みを行う等により選定したものである。
4. 平成 27 年度第 3 回の発がん性ワーキンググループにおいて、以下の 3 物質（括弧内は CAS 番号）について、IARC の 2B 以上相当と評価された。
 - ① ウラシル（66-22-8）
 - ② トリフルラリン（1582-09-8）
 - ③ ベイシックバイオレット 3（548-62-9）